



SPACE No.36

日本臨床心理身体運動学会会報第 36 号 2020 年 11 月 30 日

編集発行 日本臨床心理身体運動学会 会長 山中康裕

【第 1 回臨床心理身体運動学・学際的研究フォーラム（第 21 回大会）】

第 1 回臨床心理身体運動学・学際的研究フォーラム（第 21 回大会）を終えて

東京都児童相談センター 茂 晃久

2018 年 12 月 8 日、9 日に、立命館大学にて行われました。日本有数の観光名所ということに加え大学の立地的にも、ご参加される際は様々のご不便があったと思います。そのような中、たくさんの方にご参加いただき嬉しく思います。山本昌輝実行委員長に代わり、大変共縮ですがお礼のご挨拶をさせていただきます。本当にありがとうございました。

京都で行われるのは 1988 年の第一回大会以来になるようです。山本実行委員長が大会企画当初の案内で「記念大会」とおっしゃられていました。今回は会員の皆様には、大変ご心配とご混乱があったと思いますが、山本実行委員長が 21 回大会という、20 回記念大会から記念すべき第一歩（臨床心理身体運動学・学際的研究フォーラムとしては、まさに第一回記念大会）として、これまでの大会とは違ったスタイルをご提示されました。そして、それが京都の地で起きたということをお偶然と思えないのは私だけでしょうか。

さて、今大会の企画ですが、前大会開催時から山本実行委員長とどのような大会にするのかお話を聞かせて頂いておりました。それは、これまで本学会は心理臨床に軸足を置かれていたように感じるので、「身体」を冠した学会であることに立ち戻り、今一度「身体」に重心を乗せてみてはどうか、というお話でした。そのお言葉通り、すべてのワークショップの題に「身体」という言葉が入りました。そして、「身体」というテーマの締めくくり、そして大会の締めくくりとしてとして、また今回の目玉である、「身体」を知り尽くした小山裕史先生（株式会社ワールドウィングエンタープライズ代表・B.M.L.T 生命医科学研究所所長）に基調講演をお願いしました。ご著名で多用な小山先生ですが、快諾して下さり今回の基調講演が実現しました。本当にありがたく、嬉しく思います。小山先生に基調講演をお願いするにあたり、講演内容を事前にご相談させて頂くため、大会前に山本実行委員長と私とで小山先生の本拠地であるワールドウィング（鳥取）に貴重なお時間を頂戴し、訪鳥しました。そこでは、運動が苦手という（実際に動きをみていると苦手ということがわかりましたが(笑)) 山本実行委員長は B.M.L.T.カムマシン®トレーニン

グを体験されて効果を実感されていました。また、B.M.L.Tについて、スタッフの方や小山先生から実際にご講義頂き、本当に貴重な機会となりました。訪鳥して一番感じたことは、小山先生をはじめスタッフの方のお気遣いです。施設の案内はもちろん、昼食や夕食までお気遣い頂きました。また多用を極める小山先生は夕食をご一緒できなかったのですが、お気持ちとして高機能シューズ BeMoLo（ビモロ）を頂戴しました。それは今でも私と山本実行委員長との宝物で、大事に愛用させて頂いております。小山先生のお気遣いは理論やマシンの緻密さにも表れていると実感しました。またそれだけでなく、それはスタッフの方々にも伝わっており、ワールドウィング全体が暖かい雰囲気にも包まれていました。マシンによる効果もあるはずですが、ワールドウィングは老若男女問わず、大浴場のように様々で多様な方が利用されており、小山先生という人、そしてその人が提唱されている理論、そしてその理論や想いを引き継ぐスタッフの方々が集まる空間自体に、身体の癒しの効果があるのだと感じました。実際の基調講演では時間の関係で小山先生の理論や研究成果の一部しか拝聴できませんでしたが、これからも研究は進み、多くの方がそれに触れ、癒されていくことと確信しております。先生の益々のご活躍を心より楽しみにしております。

最後に、講師の先生方、発表者の先生方、指定討論や座長の役を担って頂いた先生方、ご参加いただいた先生方、大会の運営にお力を貸していただきました方々、表においても裏においても本大会にご尽力頂いた先生方、誠に有難うございました。そして、山本実行委員長、大会開催に際して初動負荷ならぬ、初動から負荷が生じていたように傍でお手伝いさせて頂くなかで、感じておりました。本当にご苦労様でございました。

新潟で行われる次期学会大会が、多くの会員の方のご参加により実り多いものとなることを心より祈念いたしております。

第 21 回大会印象記

西九州大学 太田秀樹

早いもので第 21 回大会（立命館大学衣笠キャンパス）にて発表させていただいてから約 1 年が経ちました。その際には、原稿送付が非常に遅れてしまい大会会長にご迷惑をおかけいたしました。再度、お詫びいたします。大変申し訳ありませんでした。

さて、当時のことを思い出すと、発表者がわたし一人だけということには驚いてしまいました。一人ということは参加者が全員来るのだ、と思うにつれ、プレッシャーが増してきました。なぜ、京都という場所で発表者がわたしごとき一人なのかと、疑問にも思いました。

しかしながら、次第に考えは変化していき、プレッシャーがかかって不安に思うよりも「目立つ！」とポジティブに捉えるようになっていったのを記憶しています。おかげで、指定討論者は山中康裕先生、廣瀬幸市先生、司会は中島登代子先生に決まってしまう、その結果ポジティブだった心が、再びプレッシャーに襲われることになりました。とは言え、話し出すと会場に来られている皆様に包まれるようで、発表の際は心地よかったことを記憶しています。

以上のような雰囲気味わうことができた立命館大学衣笠キャンパスに、わたしはうん十年ぶりに来ることができました。そして昔の大学の雰囲気を少し思い出すことができました。当時、立命館は「暗い」というイメージで有名でしたが、いつの間にか「リッツ」と呼ばれるようになり、イメージが変化し、人気も上がっています。わたしも古くなってきましたが、本学会が持つ臨床力を身に付けながら、変容していきたいと強く思った大会でした。

平成 29 年度 事業報告

【学会大会】

- ・第 20 回大会 平成 29 年 12 月 16 日（土）、17 日（日）常葉大学浜松キャンパス（静岡県浜松市）

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第 20 巻第 1 号 平成 30 年 3 月 31 日発行

【会報 SPACE】

- ・No.34 発行

【学会研修会】

- ・第 58 回 平成 29 年 6 月 11 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・第 59 回 平成 29 年 9 月 18 日（月・祝）創元社ビル（大阪市中央区）
- ・第 60 回 平成 30 年 3 月 18 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第 29 回 平成 29 年 6 月 11 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・第 30 回 平成 29 年 9 月 18 日（月・祝）創元社ビル（大阪市中央区）
- ・第 31 回 平成 30 年 3 月 18 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

今年度からの新たな試みとして、より多くの非会員の参加を募るため、以下の参加資格を設け、非会員の参加募集をおこなっている。

[参加資格] ①臨床心理士有資格者 ②臨床心理士資格養成指定大学院生 ③正会員の推薦を受けた者

【常任理事会】

- ・第 1 回 平成 29 年 6 月 11 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・第 2 回 平成 29 年 9 月 18 日（月・祝）創元社ビル（大阪市中央区）
- ・第 3 回 平成 29 年 12 月 15 日（金） ホテルヴィラくれたけ（静岡県浜松市）
- ・第 4 回 平成 30 年 3 月 18 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）

【理事会】

- ・平成 29 年度理事会 平成 29 年 12 月 16 日（土） 常葉大学浜松キャンパス（静岡県浜松市）

【総会】

- ・平成 29 年度総会 平成 29 年 12 月 17 日（日） 常葉大学浜松キャンパス（静岡県浜松市）

平成 30 年度 事業計画

【学会大会】

- ・第 1 回臨床心理身体運動学・学際的研究フォーラム／日本臨床心理身体運動学会第 21 回大会
平成 30 年 12 月 8 日（土）、9 日（日）立命館大学衣笠キャンパス（京都市北区）

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第 21 巻第 1 号 平成 31 年 3 月 31 日発刊予定

【会報 SPACE】

- ・No.35 発行予定

【学会研修会】

- ・第 61 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 62 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 63 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第 32 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 33 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 34 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

※前年度と同様、より多くの非会員の参加募集をおこなっている。

【常任理事会】

- ・第 1 回 平成 30 年 6 月 10 日（日） 浜松市福祉交流センター（静岡県浜松市）
- ・第 2 回 平成 30 年 9 月 16 日（日） お茶の水女子大学（東京都文京区）
- ・第 3 回 平成 30 年 12 月 7 日（金） 京都ガーデンパレスホテル（京都市上京区）
- ・第 4 回 平成 31 年 3 月 17 日（日） 創元社ビル（大阪市中央区）

【理事会】

- ・平成 30 年度理事会 平成 30 年 12 月 8 日（土） 立命館大学衣笠キャンパス（京都市北区）

【総会】

- ・平成 30 年度総会 平成 30 年 12 月 9 日（日） 立命館大学衣笠キャンパス（京都市北区）

日本臨床心理身体運動学会 平成 29 年度決算報告書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

<収入の部>

費 目	平成 29 年度 予算	平成 29 年度 決算
入会金	200,000	110,000
年会費	1,787,000	1,776,000
会費収入小計	1,987,000	1,886,000
研修会参加費	486,000	444,000
研修会参加費収入小計	486,000	444,000
講習会参加費	486,000	454,000
審査料(新規・移行)	60,000	10,000
登録料(新規・更新・移行)	80,000	10,000
課程認定	26,000	26,000
課程認定料	110,000	100,000
受取利息	0	31
資格認定費収入小計	752,000	600,031
紀要購読料	9,440	9,440
バックナンバー売上	20,000	0
出版事業収入小計	29,440	9,440
雑収入	30,000	200,012
その他収入小計	30,000	200,216
収入の部 小計	3,284,440	3,139,486
前年度より繰越	4,505,288	4,505,288
収入の部 合計	7,789,728	7,644,771

<支出の部>

費 目	平成 29 年度 予算	平成 29 年度 決算
会報(SPACE)製作費	10,000	0
紀要製作費	600,000	507,400
紀要発送費	30,000	29,375
編集局業務委託費	475,200	475,200
通信費	15,000	19,711
学会誌・編集委員会小計	1,130,200	1,031,686
大会援助金	200,000	200,000
会場費	60,000	58,710
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	15,000	10,191
研修委員会小計	315,000	308,901
講師謝礼	160,000	200,000
通信費	10,000	0
資格認定費(カード代)	20,000	6,480
雑費	10,000	0
資格認定委員会小計	200,000	206,480
通信費	100,000	55,615
印刷費	10,000	0
備品・消耗品費	40,000	18,495
会議費	90,000	96,000
交通・宿泊費	100,000	78,000
倉庫代	38,880	38,880
慶弔費	20,000	0
事務局業務委託費	698,075	698,075
雑費	10,000	5,878
事務局小計	1,106,955	990,943
ホームページ維持費	7,000	0
委員会運営費	10,000	0
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	10,000	0
支出の部 小計	3,279,155	3,038,010
次年度へ繰越	4,510,573	4,606,761
支出の部 合計	7,789,728	7,644,771

監査報告

平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および使途を正当に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

監査報告

平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および使途を正当に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

平成 30 年 7 月 23 日

監事 吉打 功 

監事 木村 依子 

日本臨床心理身体運動学会 平成 30 年度予算
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

<収入の部>

<支出の部>

費 目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 予算	費 目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 予算
入会金	110,000	100,000	会報(SPACE)製作費	0	10,000
年会費	1,776,000	1,767,000	紀要製作費	507,400	600,000
会費収入小計	1,886,000	1,867,000	紀要発送費	29,375	30,000
研修会参加費	444,000	480,000	編集局業務委託費	475,200	475,200
研修会参加費収入小計	444,000	480,000	通信費	19,711	20,000
講習会参加費	454,000	480,000	学会誌・編集委員会小計	1,031,686	1,135,200
審査料(新規・移行)	10,000	20,000	大会援助金	200,000	200,000
登録料(新規・更新・移行)	10,000	450,000	会場費	58,710	60,000
課程認定	26,000	39,000	指定討論者謝礼	240,000	240,000
課程認定料	100,000	100,000	雑費	10,191	15,000
受取利息	31	0	研修委員会小計	308,901	315,000
資格認定費収入小計	600,031	1,089,000	講師謝礼	200,000	200,000
紀要購読料	9,440	9,440	通信費	0	20,000
バックナンバー売上	0	4,000	資格認定費(カード代)	6,480	45,000
出版事業収入小計	9,440	13,440	雑費	0	10,000
雑収入	200,012	50,000	資格認定委員会小計	206,480	275,000
その他収入小計	200,012	50,000	通信費	55,615	100,000
収入の部 小計	3,139,483	3,499,440	印刷費	0	5,000
前年度より繰越	4,505,288	4,606,761	備品・消耗品費	18,495	40,000
収入の部 合計	7,644,771	8,106,201	会議費	96,000	100,000
			交通・宿泊費	78,000	100,000
			倉庫代	38,880	38,880
			慶弔費	0	20,000
			事務局業務委託費	698,075	698,075
			雑費	5,878	10,000
			事務局小計	990,943	1,111,955
			ホームページ維持費	0	7,000
			委員会運営費	0	10,000
			学会積立金	300,000	300,000
			雑損失	0	0
			予備費	0	10,000
			支出の部 小計	3,038,010	3,364,155
			次年度へ繰越	4,606,761	4,742,046
			支出の部 合計	7,644,771	8,106,201

事務局より

○年会費納入のお願い

年会費を未納の方は、至急下記口座に入金してください。また、納入状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

正会員 10,000 円 一般会員 9,000 円 準会員 7,000 円

<振込先>

送金口座

ゆうちょ銀行

1 4 4 6 0 - 2 9 2 3 1 2 1 1

日本臨床心理身体運動学会

銀行対応

店 名：四四八（よんよんはち）

店 番：4 4 8

預金種目：普通預金

口座番号：2 9 2 3 1 2 1

○年会費自動払込の手続きについて

年会費の自動払込手続きは、学会総会における決議事項であり、全会員にお願いしています。手続き未完了の方は自動払込利用申込書をご提出ください。申込書をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

○住所・所属等の変更連絡のお願い

住所や所属等に変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

○メールアドレス登録のお願い

事務局よりご連絡を差し上げる際に使用いたしますので、メールアドレスのご登録がお済みでない方は、下記事務局アドレスまでご連絡ください。

○退会申請について

退会をご希望の方は、年会費を完納した上で該当年度の **3月31日まで**に書面の退会届（**署名・捺印要**）を事務局宛にご郵送ください。3月末以降の申請となった場合、翌年度末退会となりますのであらかじめご了承ください。※退会届の様式は自由です。

例)

令和3年3月31日までに退会届を郵送→令和2年度末退会

令和3年3月31日以降に退会届を郵送→令和3年度末退会

○連絡先

日本臨床心理身体運動学会事務局

〒600-8449 京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1 株式会社 木立の文庫内

TEL：075-585-5277

FAX：075-320-3664

E-mail：office@rinsinsin.jp

編集後記

SPACE の 36 号をお届けします。新体制になり、新たに仁里が広報委員会を任されました。これまでなかなか発行が出来ず、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。なお、今回掲載の事業報告は平成 29 年度、事業計画は平成 30 年度のものであり、一昨年のものであります。昨年については次号に掲載の予定です。そちらをご覧くださいと思います。

コロナ禍の中ではありますが、これまでこの学会が大切にしてきた人と人との関り、そして人が身体を通して感じるところを、引き続き大切にしていける学会であればと思います。このSPACEの中にも、それを反映していければと願っています。

皆様の積極的な投稿をお待ちしています。

(仁里)

SPACE No. 36

日本臨床心理身体運動学会 会報第 36 号

2020 年 11 月 30 日発行

日本臨床心理身体運動学会

会 長 山中康裕

編集責任 仁里文美

事務局 〒600-8449

京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1

株式会社 木立の文庫内

TEL : 075-585-5277

FAX : 075-320-3664

E-mail : office@rinsinsin.jp